

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「関ブロ大会本番 写真で見るドキュメント第2版」

4.5

- 2 トピックス 〈下越地区公民館関係役員等研修会 一泊研修〉
- 3 視点 「公民館と他分野融合」 村上市教育委員会 教育長・圓山 文堯
- 3 ひろば 「委員として」 佐渡市社会教育委員・知本 克己
- 6 実践記録シリーズ 「謙信 KIDS スクールプロジェクト 海と山と大地の楽校^{がっこう}」 上越市生涯学習推進課・公民館
- 7 サークル交流 「オカリナを楽しむ」(魚沼市) / 「優しい音色のとりこになって」(村上市)
- 7 素顔拝見 小川 瑞季さん(三条市) / 近藤 高広さん(五泉市)
- 8 お元気ですか 「食と書」十日町市・樋口 則雄さん
- 8 ネットワーク



親子でかんたん工作 (柏崎市)

表紙解説

夏休みの小学生を対象とした講座「親子創作工房」。おじいちゃん先生の説明に子どもたちは興味津々です。

下越地区公民館関係役員等研修会 一泊研修

下越地区の公民館職員を中心とした研修会が平成25年10月3日(木)、4日(金)に開催されます。

各地区の研修会はほとんどが一日日程で、一泊二日で行われる研修会は最近では行われていません。その研修内容等を含めて今後の研修会企画の参考として「トピックス」に取り上げます。

毎年秋に開催されるこの研修会は、下越地区社会教育委員連絡協議会(下社連)と合同で開催されています。大会の主管は下越地区公民館連絡

熱弁の若林氏



協議会(下公連)と下社連が隔年ごとに交互に担当していて、今年度は下公連が主管で開催されます。

昨年は、阿賀野市で下社連主管で開催されました。一日日程でした。「小千谷市元氣プロジェクト」理事長の若林和枝氏が講師に迎えた午前中の講演は大変好評でした。午後は五分科会が行われました。

*

今年度は佐渡市を会場に、2日間の日程で開催されます。

1 会場

1日目

トキのむら元気館

2日目

相川金銀山跡

2 宿泊・情報交換会

ホテル大佐渡

3 主な研修日程

①佐渡市三大世界遺産の取

組紹介

②分科会

*別掲

③情報交換会

④フィールドワーク

佐渡金銀山の遺産群

⑤トキふれあい施設見学

初日の午後1時30分開会して、二日目のお昼までの日程

です。大会事務局(佐渡市社会教育課)では、昨年の参加者数110名を超える多数の参加を期待しています。

別掲 分科会

分科会は、下公連3分科会、

下社連2分科会を行います。

どの分科会でも自由に参加できます。

下公連分科会

第1分科会

高齢世代と公民館の役割

(新発田市)

第2分科会

他分野と連携した公民館

活動について (村上市)

第3分科会

学びを地域づくりに生かす

(阿賀町)

下社連分科会

第4分科会

市民の自治能力の向上

(阿賀野市)

第5分科会

子ども週末事業のあり方

と必要性 (聖籠町)

*

佐渡市三大遺産の取組紹介

では佐渡市の担当者が三

部門についてその取組を紹介

します。

①大地の公園(ジオパーク)

佐渡市社会教育課

②金を中心とする佐渡鉾山の遺産群

佐渡市世界遺産推進課

③トキと共生する世界

農業遺産(ジオス)

農林水産課

生物多様性推進室

*

参加費等は全日程参加(宿

泊費含む)は15,200円

披露された「つぶろさし」の

ユイモラスな踊り



です。4段階の費用設定があり参加者の事情に依る設定になっています。

全体指導者は、新潟県教育

庁下越教育事務所・社会教育

課長 伊比宗宏氏です。

2年前には県公民館大会が

佐渡市で開催されました。主

管の佐渡市社会教育課や公民

館関係者の皆さんの心のこ

もった運営が印象的でした。

大会のアトラクションでは

文化財としての価値も高い

「つぶろさし」が披露され大

喝采でした。今回の大会でも

主管者が知恵を絞って参加者

を歓迎してくれるのではない

でしょうか。

次号では当研修会の開催の

レポートを掲載します。

また、今後は、上越、中越、

新潟地区の研修会の模様もレ

ポートします。

今後の「トピックス」掲載

予定

一 一月 下越地区研修会

一 二月 全国大会レポート

一 三月 各地区研修会レ

ポート

二 月 各地区研修会レ

ポート

三 月 新年度の活動に向

けて 会長

視点

公民館と他分野融合

村上市教育委員会 教育長 圓山 文堯



五月十八・十九日、村上市を会場に「全国スポーツクラブ会議」が開催された。全国津々浦々から約千名の人が参加した。そこで、総合型スポーツクラブの熱い思いに接した。また、その思いを活かす手立てはないかと感じた。地域の人々とともに活気あふれるまちづくりに貢献しているこれらのクラブと公民館事業の融合である。

公民館の目的は社会教育法第二十条にあるが、基本的な役割は、「人々が集う場所の提供」「自分が生きていく上での必要な学び、他の人々とともにより良い関係で生きていくための学びの提供」「人」と人とのつながりを提供する。そのための事業は、公民館に求められているものが、よりはつきりと思えるのではないかと思う。

社会はスタティック（静的）からダイナミック（動的）に変貌している。そのようなか、目的達成のための役割を大切にしながら、各NPO団体との連携を図ることが大切であると考え。いろいろなニーズを把握したうえで、「地域をどうしていくか」という理念のもと、ともに事業を展開する。そこから、公民館に求められているものが、よりはつきりと思えるのではないかと思う。

H O T N E W S

掲 示 板

生涯学習フォーラム開催

新潟県では、平成25年度新潟県生涯学習フォーラムを開催します。

- 1 日時 平成25年10月25日(金)
午後1時15分～4時30分
- 2 会場 県立生涯学習推進センター
- 3 日程及び内容
第1部 午後1時15分～1時25分
知事挨拶
午後1時25分～2時25分
記念講演
講師 野口 信一氏
(元会津図書館長)
第2部 午後2時40分～3時10分
基調提案
午後3時10分～4時30分
パネルディスカッション
パネラー：中條美奈子氏
(NPO 法人理事長)
信田榮太郎(村上市教育委員)
安藤 哲也(前県立図書館長)
- 4 参加対象 県民一般 参加費無料
- 5 写真パネル 活動団体の紹介写真パネルが展示されます。
*当会の活動紹介パネルも展示されます。

ひろば

「委員とこ」

佐渡市社会教育委員 知本 克己

一昨年から社会教育委員（公民館運営審議会委員を兼任）を委嘱され、二年が過ぎようとしています。

佐渡は高齢化が進み、人口は減少傾向にあります。住民が元気に生活を、地域が活性化するために、公民館活動は必要不可欠のものと考えます。社会教育委員として住民とのパイプ役となれるように努めてまいりたいと思います。

昨年度は、調査・研究活動として、佐渡に十地区（旧市町村単位）ある公民館を訪問し、それぞれの公民館の実態把握を行いました。社会教育事業・社会体育事業・公民館事業の現状について実際に訪問し、生の声を聞くことによりその地域地域に根付いてきた文化や伝統またそれぞれが抱えている問題点も知ることができ大変有意義でした。

今年度は地区公民館組



写真で見るドキュメント第2版

分科会の参加者総数は479名でした。



第1分科会(東京)
視察する神崎副
会長と石川事務局
長。



第7分科会(埼玉)
開会にあたり運
営方法について説
明する運営役員



受付の若者2人
忙しい朝の時間
帯を過ぎても定位
置から動かず好印
象



運営役員3人
記録者はこの後
資料集作成大役
が



第3分科会(新潟)
発表中
右:小島良子氏



第4分科会(新潟)
スクリーンで資
料を説明する佐藤
晴夫氏



第8分科会(千葉)
越村康英氏の指
導、助言



第14分科会(長野)
浅野秀重氏の指
導、助言

*

熱気を帯びた各分科会はほぼ予定どおりの時間に終了しました。おりしも解散の名残を惜しむように小雨模様。輸送、案内係が雨の中を最後までバス案内をしました。関係者すべての方に感謝致します。



特集

「関」プロ大会本番



事務局長
田原 理

先月号では開会当日の運営について、受付、アトラクション、開会行事、表彰、朗読劇、講演、旗引継式を中心に写真で紹介しました。

今号では前号に引き続き、レセプション、分科会などの模様を紹介します。

〈レセプション〉



浦佐毘沙門堂裸押合祭。地元の多聞青年団の皆さんが見事なパフォーマンスを披露。



巨大ろうそくを抱え「サンヨサンヨ」の掛け声で練り歩く姿は見る者を圧倒する迫力。



名刺交換 右は全公連の石川事務局長。



名刺交換

来賓、各都県公連役員等と新潟県役員参加者の総数は68名でした。



懇談の様様

左:湯浅康夫大会会長 中:神崎節生全公連副会長
右:石川正夫全公連事務局長

後方の酒瓶は新潟県の役員が提供した地酒。30本以上が集まり飲み干しました。

〈分科会〉

大会2日目は分科会でした。分科会運営役員は7時半に集合して会場の最終準備。8時から発表者、司会者、助言者等との打合せ。8時半から受付開始して9時分科会開始。11時50分終了でした。早朝からの業務で、県内各地から役員として参加した人の中には朝5時に出発したという人も多くいました。前泊の役員もいました。会場の設営、撤収、運営に総勢79名が大活躍しました。

*

大会実行委員会では、分科会の構成人数を50名前後にしたいという目標がありました。適正人数で協議を活発にして欲しいという願いがあったからです。

参加申し込みは幸いなことに1分科会に集中することなく平均して40名の分科会構成になりました。県外参加者はすべて第1希望分科会に。若干の微調整を新潟県参加者にお願しました。

実践記録

187

シリーズ

「謙信 KIDS スクールプロジェクト 海と山と大地の楽校」

がっこう

上越市生涯学習推進課・公民館

上越市教育委員会では、子どもたちの体験活動プログラム「謙信KIDSスクールプロジェクト～海と山と大地の楽校～」を開催しています。

このプロジェクトは、子どもたちがふるさとを愛し、豊かな心を持ち、たくましく健やかに育ててほしいという願いを込め、平成18年度からスタートしました。

上越市の自然や歴史、文化などの地域資源を生かした28種類の楽校に、市内のたくさんの小学生が参加し、様々な体験活動を通して学びや交流を深めています。

今回は、数ある楽校のうち、上越地域の海を活用した「海の楽校」をご紹介します。

【「海の楽校」全4回 参加者:25人(小学4～6年生)】

○第1回 6月1日(土)
8:00～14:30

県立海洋高校の実習船「海洋丸」に乗船し、宿泊室やお風呂、調理室などの船内の見学や操舵体験を行いました。



いよいよ乗船!



船内での説明



船内の見学

○第2回 6月15日(土) 5:30～13:00

早朝に磯釣り体験と干物づくりを行いました。自分たちでさばいた魚で干物づくりを行い、後日参加者に届けられました。



磯釣り体験の様子



初めての干物づくり

○第3回 8月1日(木) 9:00～14:00

地域の漁師から漁船に乗船させてもらい、刺し網

漁を見学しました。港に戻った後は、網から魚を外して浜汁づくり。



漁船に乗船



網からの魚はずし



浜汁で昼食会

○第4回 8月22日(木)
9:00～15:00

市内の小学校で語り継がれている「クジラ学校」について学び、午後は海上保安署の巡視船に乗って保安署の仕事体験しました。



上下浜小学校の資料室を見学



海上保安署の職員からの説明



巡視船に乗船!

○まとめ

謙信KIDSスクールプロジェクトでは、学年や学校を超えた子どもたちの交流が実現できます。また、上越地域で活動する方と出会い、体験し、改めてふるさと上越を知ることで、大きな発見や感動につなげることができます。

参加した子どもたちが、この事業を通してより心豊かに「ふるさと上越」を語るができる大人に成長していくことを期待します。(箕輪)

オカリナを楽しむ

オカリナこのみ

平成十七年度、公民館での「オカリナ講座」終了後に自主サークルとして立ち上げ、その活動は今も続いています。月二回、講師の指導を受けながら公民館を会場（教室）にオカリナを楽しんでいます。会員は十六名です。

オカリナは素焼きの陶器で作られた楽器で素朴な音色が魅力、また携帯にも便利です。譜面を詠みながら十指を駆使して演奏しますのでボケ防止にもなります。

童謡から演歌・流行歌まで



幅広く演奏ができ誰にでも郷愁の世界を堪能できます。

地域の各種イベントに参加したり介護施設等にも訪問演奏させて頂いております。

写真は近隣の同好サークルとの交歓会(年一回)時のもの。

魚沼市・オカリナこのみ

矢野 幸一 記



優つた音の ユニオン

カポタスト

クラシックギターの好きな仲間たちが集まって、もう二十数年になります。週一回の練習日は会員にとっては唯一ギターに没頭する大事な日でもあります。初心者から、(自称)上級者まで十名前後が集います。基礎練習から始まって合奏練習そして独奏練習と、夜

六時半から始まって九時まであつという間に時間が過ぎてしまいます。そんな中、特に合奏練習には力が入ります。自分のパートをしつかり弾いてほかのパートの人の迷惑にならないように、それはそれは気を遣います。集中心(力)を養う場でもあります。月に一度プロの先生においていただきレッスンを重ねます。音楽に大事な曲想(感性)や、難しいテクニクなどを学びます。年に一度の検定試験(グレード)にも、それぞれが挑戦して演奏の向上を図っております。サークルの面々も少しづつ高齢化しておりますが、それはそれで見合った曲に挑戦しているのので「楽しく面白おかし」活動してきます。もちろん地域の演奏会などに進んで参加しております。機会がありましたら、見学に来てください。



村上市・カポタスト

西坂 寛 記

村松公民館2年目の近藤係長です。

担当の高齢者学級のさくら学園の学級生には、いつも「コンドウさ〜ん」とご指名され、頼りにされています。毎年、6月に実施する「生き生き通学合宿」では、小学生5〜6年生40名の児童が、チャレンジランド杉川で5泊6日の合宿をしながら通学するのですが、そこでも食事の時はもちろん子ども達の輪の中になぜかおさまっているのです。

老若男女に人気のある係長ですが、とにかく担当する仕事の範囲が広く、チャレンジ

五泉市村松公民館

係長 近藤 高広さん



三条東公民館の小川瑞季さんを紹介いたします。公民館職員として3年目。フレッシュな感覚で子ども事業などを企画しています。昨年まで担当した「夏休みお寺で宿泊体験」では参加した子どもたちの感想をまとめた文集づくりをして、子どもたちの楽しい思い出づくりを手がけていました。大学時代は吹奏楽部でトロンボーンを担当していたこともあり、公民館事業では楽器入門教室を企画してみたいと意欲的です。また東公民館の文化祭は音楽の発表もあり、特に気に入っている事業とのことです。職場の人たちに彼女の印象を聞いてみると「落ち着いた」「穏やかな感じ」「コンピュータに強い」「仕事が信頼できる」「親切丁寧な対応」

三条市三条東公民館

小川 瑞季さん



などなど。確かに公民館利用者とのカウンター対応も爽やかに落ち着きがあり、接遇の基本を心得ています。今、熱中していることは石鹸づくりで、アロマ入りの色々な香りの石鹸をつくるのが楽しみと云います。

好きな言葉は「ピンチはチャンス」。どんなことがあってもマイナスには考えずにプラス思考で考えることをモットーにしています。持ち前の柔軟な発想で公民館事業に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。

(三条市三条東公民館長 金子 正典 記)

素顔 拝見

ランド杉川、さくらんどう会館、郷土資料館、戸倉コミュニティー、陶芸教室に公民館と毎日奔走しています。

趣味は、もっぱら海釣り。世の中で苦手なものは、酒と女と…自称申しておりますが、仕事はさておき早く可愛い嫁っ子を見つけてください(お茶のみ相手?! = 伴侶)。部下みんなで心配して…いや応援してます!!

(五泉市村松公民館 主幹 室橋 節子 記)

お元気ですか

「食と書」 樋口 則雄 (十日町市)



退職して5ヶ月、月日の過ぎる早さを実感しています。前から趣味も多く、手持ち無沙汰な時間はそれほどないだろうと思っていました。

実際、小農園ではあるけれど季節ごとの野菜づくり、北海道まで足を伸ばしたバイクツーリング、広い海原での釣り、東京などへのぶらり旅など、やり始めるとあっという間でした。

そんなやりくりの中で、公民館の「男の料理教室」並びに「書道教室」に通いはじめました。季節の具材を活かした日本料理の味わい深さや芸術性を再確認し、世界中にブームを引き起こしているものなるほどと実感しています。また、書道は描く精神的芸術というか、文字にその人の人生観が現れる最たるものではないでしょうか。難しいですがチャレンジすることに意義を見いだしています。価値観が多様化したなかで、「食」と「書」を体感出来ることを楽しんでいます。こうした公民館活動を通して自分を見つける機会が得られることは、今後の人生に大いにプラスになるものと確信しています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

Network

子育て・家庭教育<出前>講座

県では、企業向け「子育て・家庭教育出前講座」を開設し、子育て中の社員の皆さんなどが家庭教育や子どもへの接し方を学ぶお手伝いをしています。

ご要望により会社等に伺い講座を開催します。講師費用等は無料です。子育て講演会、座談会、相談会などプログラムの相談にも応じます。

問い合わせ

新潟県教育庁生涯学習推進課

青少年家庭教育係

〒950-8570

新潟市中央区新光町4番地1

電話：025-280-5617

FAX：025-284-9396

E-mail：nigt500060@pref.niigata.lg.jp

深めよう絆 各地区の集い

県では、「いじめ見逃しゼロ運動」の一環として、地域の絆を深め、社会全体でいじめや不登校などの問題を見逃さず、その解消や防止の機運を高める集いを各地区で開催します。

<上越地区>日時：平成25年12月7日(土) 13時～

会場：ユートピアくびき希望館

内容：実践発表、シンポジウム

<中越地区>日時：平成25年10月2日(水) 12時50分～

会場：長岡リリックホール

内容：実践発表、講演会

<下越地区>日時：平成25年10月12日(土) 13時30分～

会場：聖籠町町民会館

内容：実践発表、トークセッションとミニコンサート

問い合わせ 各地区教育事務所学校支援課 (担当)

上越：025-526-9375 (重野)

中越：0258-38-2682 (古川)

下越：025-231-8360 (高橋)

事

事務局長のつぶやき

関プロ大会が終わり事務局も通常の業務に戻りましたが、関プロの事務局は今年度未まで続きます。現在、第2回理事会(東京開催)の準備中です。

今日は「衣替え」の日。つい

最近まで冷房の生活だったのに朝方は寒さを感じるようになりました。とはいえ日中は汗ばむこともあり服装の選択に迷うときです。どうぞ風邪など召しませんように。(田原)

100年先の日本のために

豊かな水を育み国土を守る森林は、「緑の社会資本」であり、地球温暖化の防止にも大きな役割を果たしています。私たちは、その恩恵を後世の人々が享受できるように、長期的視点に立った森林づくりを推進しています。

新潟県市町村林政振興協議会

会長(村上市長) 大滝 平 正

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609